

憩いの庭

北新潟キリスト教会新聞 6

2016年11月27日(日)発行(季刊)

「主は私の羊飼い。

主は私を緑の牧場に伏させ、

いこいの水のほとりに伴われます。」

(旧約聖書・詩篇23篇1～2節)

「すべての人を照らす光」

牧師・原山康伸

初めてのクリスマスの夜、幼子イエスさまは、清純な処女マリヤからお生まれになりました。クリスマスは、救い主イエスさまの誕生を愛をこめて記念する日です。一年中で最も日照時間の短いこの時節に、私たちはクリスマスを祝います。冬枯れの庭に椿や山茶花、南天の赤い実が映え、夜空に飾られたイルミネーションの光が温かな彩りを添えてくれます。聖書の中に、「この方にいのちがあった。このいのちは人の光であった。光は闇の中に輝いている。闇はこれに打ち勝たなかった。すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた」(ヨハネの福音書1章4節、9節)と記されています。

このたび、アメリカ合衆国では、次期大統領にトランプ氏が選出されました。氏は過激な発言で物議をかもし、自国第一主義で、従来の外交・経済・軍事にわたる世界協力から手を引き、隣国との国境に壁を作ることを主張し、地球温暖化対策などには反対の意向を表明しています。次期米国大統領のこうした姿勢は、世界平和にとって危機的な状況と言わねばなりません。人間の飽くなき富の追及の結果、地球環境はこれまでになく悪化し、内戦による難民の増加、EU経済機構の弱体化、IS勢力の拡散などの脅威が増しています。世界情勢が闇の様相を呈している時に、それでも聖書は、闇の中に輝き続ける一条の光を示しています。

クリスマスによく歌われる曲にモーツァルト作曲の「アヴェ・ヴェルム・コルプス」があります。そのラテン語の歌詞に目を留めると、「処女マリヤから生まれた汚れなきみからだをほめたたえよ。まことにそのお方は、全人類のために十字架上で苦しみ



を受け、犠牲となられた。その人の脇腹は刺し貫かれて、水と血が流れ出た。その十字架死の事実にもって気づかせてください。死の審問に臨む前に、死の審問に臨む前に。」という大変厳粛な曲です。

遅かれ早かれ人は誰もこの地上の衣を脱ぎ捨て、かしこに赴かねばなりません。私たちがその死に臨む前に、どうしても知っておかねばならない一つのこと。それは、汚れない神のひとり子が、十字架上で身代わりの犠牲の死を遂げられたことだと言うのです。人は誰も、「イエス・キリストの十字架死は私の罪のため」と信じる信仰によって罪赦され、救いの恵みにあずかることによって、はじめて希望を持って永遠の世界に旅立っていけるのではないのでしょうか。

『イエス・キリストを信じる者は、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのち(罪と死からの救い)を持つ』と聖書(ヨハネの福音書3章16節)は述べています。その誕生によって、世界の歴史を紀元前と紀元後に二分しておられる世の光なるお方に目を注いでまいりましょう。

? クリスマスを教会で?

12月11日(日) **子どもクリスマス会**
午後2:00～3:30

12月18日(日) **クリスマスコンサート**
午後2:00～3:00

出演: 日比野則彦・愛子、AYAKI

12月24日(土) **キャンドルサービス**
午後7:00～8:00

特別さんび: 日比野則彦・愛子

12月25日(日) **クリスマス礼拝**
午前10:30～12:00

「神様に背中を押されて」

新潟聖書学院3年 一重 真 (55歳)

私は柏崎市にある学院の寮から北新潟キリスト教会に通い始めて1年8カ月ほどになります。100kmの道のりの9割は海岸線であり、その景色を見ながら走るのが大好きです。毎週、同じ日本海を見ながら同じ道を走っているのですが、景色は同じではありません。天候によって、風のあるなしでも景色は違います。いずれの景色も言葉にはならないほどの感動を与えてくれます。厚い雲の隙間から一直線に海に突き刺さる何本もの太陽光線はとても神秘的です。今にもイエス様が天から降りて来られるかのようです。海に沈む夕日も感動です。視線を反対側に向けると四季によって、桜、新緑、紅葉、雪化粧と景色が変わります。桜吹雪も感動です。新緑の緑は一色ではありませんし、紅葉の鮮やかさをみると神様の絵の具の種類はどのくらいかなと思ってしまう。何もかも真っ白におおってしまう銀世界はすべての罪を消し去ってくださるかのようです。神様の作品であるこれらの大自然はいつも感動を与えてくれます。聖書には「被造物を通して神を知ることができる」とありますが、ほんとうにその通りです。全世界を、全宇宙をお造りになられた神様に不可能など無いということを教えられます。この偉大な神様を身近に感じながら教会まで往復できる恵みを心から感謝しています。

私は神様に導かれて聖書学院に入学いたしましたが、私は聖書を学ぶことなど全く考えていませんでしたので、最後は神様に背中を押される格好でした。当時の私は全く貯えがなく、あるものといえば子供が残っていた学資ローンが2人分。そのうえ、高校2年生の末娘がいました。仕事を辞めて学ぶなどということは頭にありませんでした。しかし、私は確信と平安を与えられましたので聖書学院で学ばせていただく決心をしました。あれから2年半以上が経ちましたが、不思議な方法で必要なものはすべて与えられ、すべてにおいて守られています。私はお金ではなく、確信を持って学院に来ました。神様のなさることは私たち人間からすれば常識外れで、無謀に思えることもあります。神様は必ず守ってください。そのことを体験することによってより深く神様を知ることができます。そこには希望がありま

す。私を愛してくださる神様に全てをおゆだねし、共に歩ませていただけることを感謝しています。

この夏に出会い、とても励まされた詩を紹介させていただきます。

大きなことをなし遂げるために、力を与えてほしいと神に求めたのに、

謙遜を学ぶようにと弱さを授かった。

偉大なことができるようにと健康を求めたのに、

より良いことをするようにと病気を授かった。

幸せになろうとして富を求めたのに、

得意にならないようにと失敗を授かった。

人々の称賛を得ようと、力を求めたのに、

神の必要を知るようにと弱さを授かった。

人生を大いに楽しもうと、あらゆるものを祈り求めたのに、

あらゆることを喜べる人生が与えられた。

求めたものは一つとして与えられなかったが、願いはすべて聞き届けられた。

神の意に沿わない者であるにもかかわらず、

心の中の言い表せない祈りはすべて叶えられた。

私は最も祝福されたのだ。

?????

《北新潟キリスト教会の集会案内(毎週)》

主日礼拝：日曜日 午前10：30～12：00

教会学校：日曜日 午前9：30～10：00

聖書の学びと祈り会：水曜日 午後7：30～9：00

聖書を読む会：木曜日 午前10：30～12：00

他に聖句書道同好会、俳句同好会、ほっと会(火曜日、月1回)



〒950-3112 新潟市北区太夫浜2040-1

日本同盟基督教団 北新潟キリスト教会
牧師・原山康伸

TEL025(259)4491 (旧松浜教会、附属さんび園同窓会事務所)

<ホームページ> <http://www.kitaniigata-church.com>

当教会は、聖書を大切にすプロテスタント教会であり、エホバの証人(ものみの塔)や統一教会、モルモン教などとは関係がありません。安心してお出かけください。
